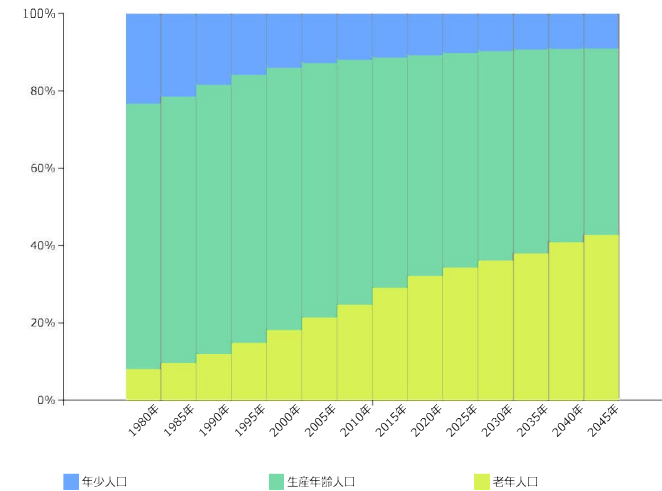
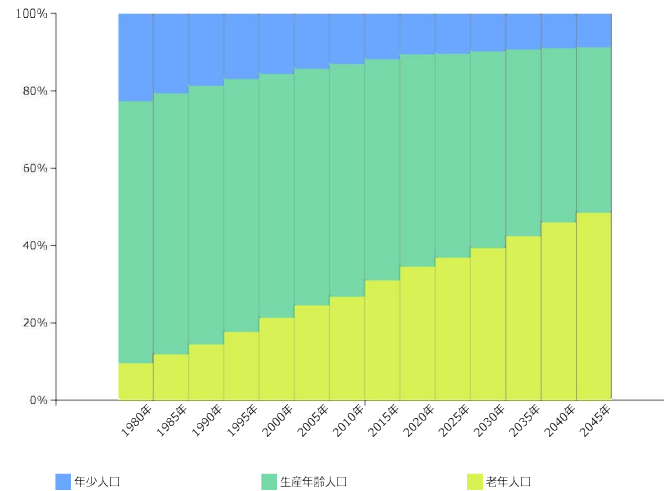
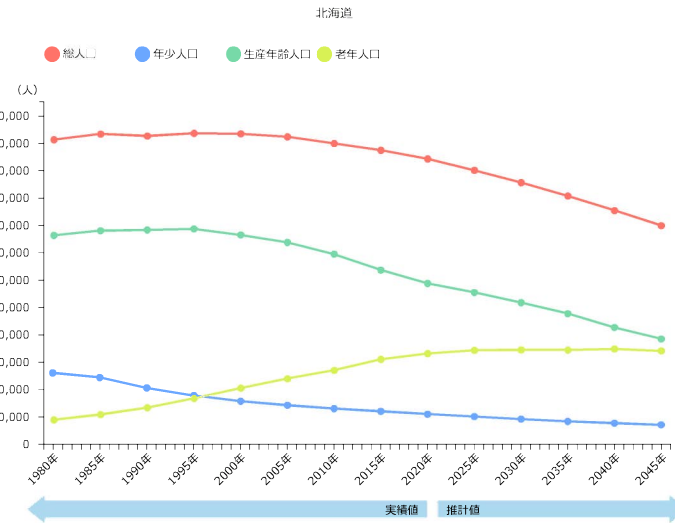
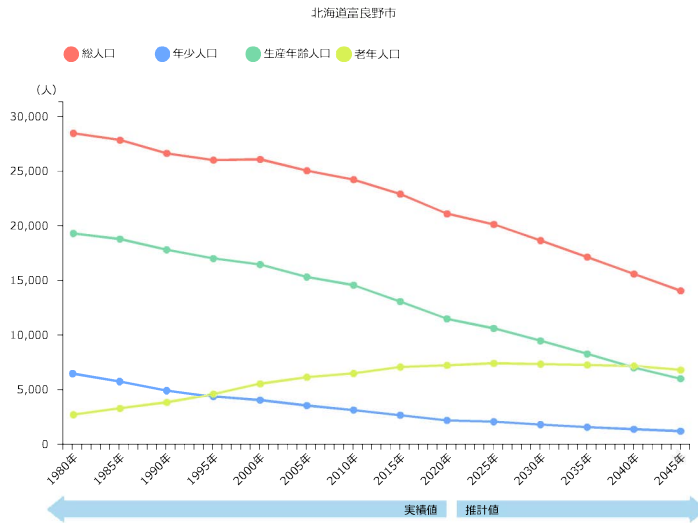


資料2：人口推移、人口ピラミッド、自然増減・社会増減推移

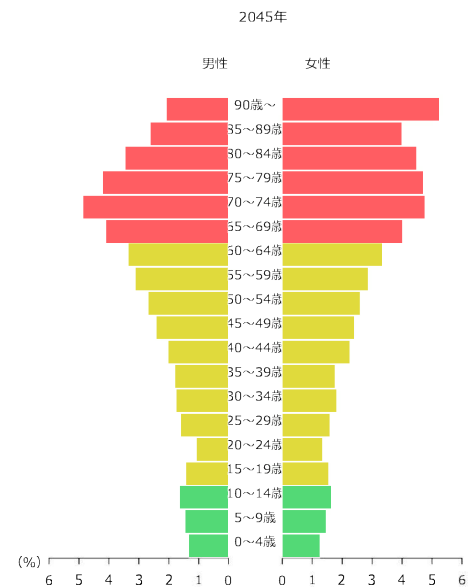
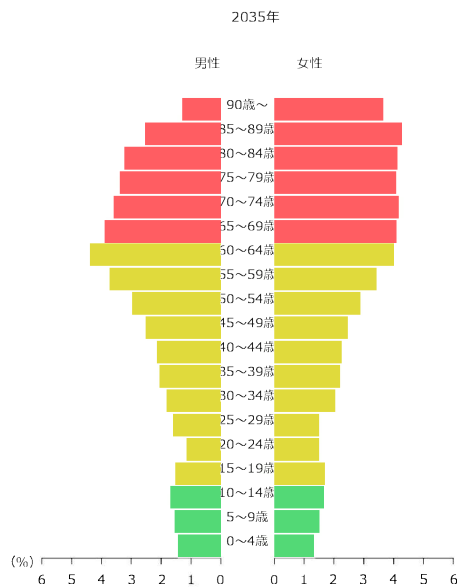
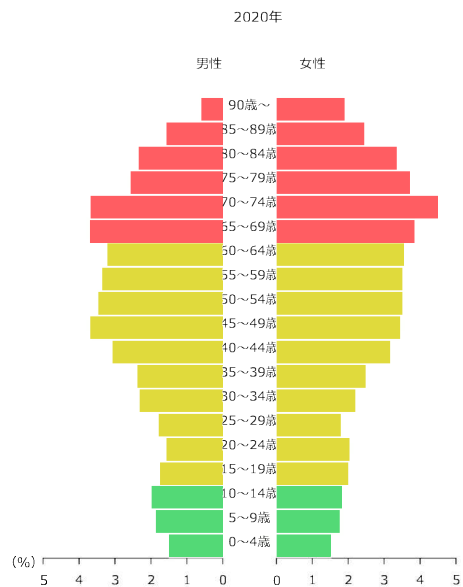


【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【参照メニュー】
人口マップ・人口構成・人口推移

示唆
2020年の老年人口割合は北海道と比べて高い。
2020年の年少人口割合、生産年齢人口割合は北海道と比べて低い。
総人口は2020年と比較して2025年に95.4%、2035年に81.3%、2045年に66.6%になる。

【目的】人口の男女別・年齢別構成を把握しよう。

北海道富良野市

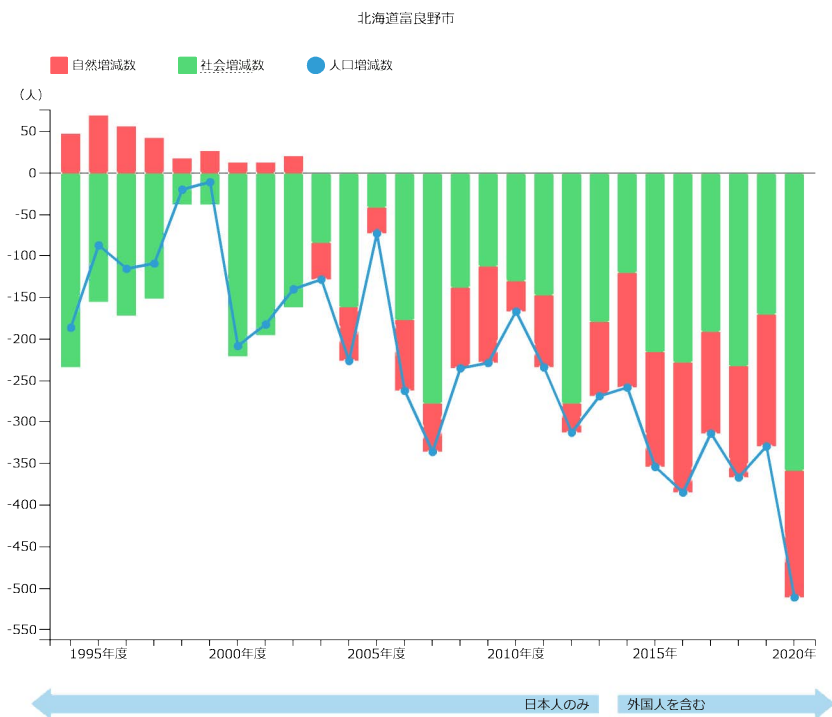


【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【参照メニュー】
人口マップ→人口構成→人口ピラミッド

示唆

2020年から2045年にかけて老年人口（65歳以上）は5.9%減少する。
2020年から2045年にかけて生産年齢人口（15歳～64歳）は47.7%減少する。
2020年から2045年にかけて年少人口（0歳～14歳）は44.5%減少する。

【目的】自然増減と社会増減の推移を確認しよう。



【出典】

都道府県：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」
 市区町村：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注記】

都道府県：2013年までは日本人のみ、2014年以降は外国人を含む数字。
 市区町村：2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

【その他の留意点】+

【参照メニュー】
 人口マップ→人口増減→グラフを表示

示唆

人口の社会減は1994年度から生じている。
 人口の自然減は2003年度から生じている。